

出前講座「食と健康：持続可能な農業のすすめ」報告

広大マスタース会員 室岡義勝、河野憲治

日時：2016年3月17日（金）15：00～16：30

場所：高屋西還暦サロン「きづき」

参加人数：43名

内容：

「食と健康」の第12回出前講義を行った。先進国は、カロリーの摂り過ぎの上に食料の廃棄量が多く、このままでは世界の食糧供給は足らなくなり、飢餓人口の拡大が危ぶまれる。これに対処するには、遺伝子組換え技術による食糧増産が必要となる。エネルギー消費を抑え、最小限の化学肥料と微生物共生を利用したエコ農業を目指さなければならない。稲作は、穀物収量が多く、灌漑による土壌の劣化を防ぎ、環境保全に最適なことから、稲作文化を守らなければならない。そのために、採算の取れる農業はいかにあるべきかが問われて久しい。後継者の育成には、国の補助と格好よい農業を目指す必要がある。今回は、河野憲治先生を特別ゲストにお招きして東広島市の中山間地域の農業と環境保全の試みをお話しいただいた。



第12回 持続可能な農業のすすめ

食糧から見た宇宙船地球号の定員

世界の飢餓を救う遺伝子組換え

共生菌利用による持続的農業

地球を再生させる稲作文化

日本のお米は「オイシイデス」

食文化と環境を守る農業

「ワー！カッコいい」農林水産の担い手

中山間地域の農業と環境保全の試み